

事例 2

地域の暮らしを守る

加悦地域支え合い
交通運営協議会

与

謝野町では、バスの運転士不足や高齢化、人口減少に伴い、公共交通の維持が大きな課題となっています。

そういった中、バス路線から離れた地域に住む方々の移動手段を確保するため、桑飼地区では地域住民主体の「桑飼地区支え合い交通運営協議会」が誕生し、令和5年10月に桑飼地区内で「よさの乗合交通（以下、乗合交通）」の実証運行をスタート。さらに、6年10月からは加悦地域全域にエリアを拡大し、「加悦地域支え合い交通運営協議会（以下、協議会）」として、本格運行を開始しています。

「住民の皆さんの買い物や通院

など、お
出かけの
ための移
動手段を
どうする
かが課題
でした。
誰もが安
心して暮
らし続け
られる地

域づくりをめざして、地域で何と
かしていこうという思いで協議会
を立ち上げ、運行しています。加
悦地域の皆さんの暮らしの支えに
なれば」と話すのは、協議会会長
にしむらよしひさ
の西村良久さん。

加悦・与謝・桑飼地域の各エリ
アから登録されたドライバーは、
現在11人。顔が見える安心で便利
な乗合交通を、ぜひご利用くださ
い。



よさの乗合交通に乗車する利用者